

# H823H ミニドローン

## 取扱説明書

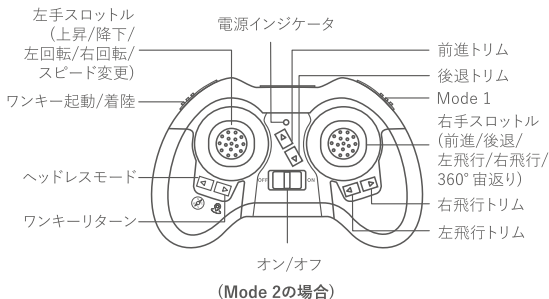
## 》 声明と安全上のご注意

1. ドローンのインジケータを直視しないでください。
3. 以下の場所またはその付近で飛行させないでください。
  - ・建物や木などの障害物がある場所
  - ・高圧線、水面の付近
  - ・人が多い公共場所
4. 天候の悪い日(大風、雨、雪、霧、雹、雷電、台風など)には飛ばさないで下さい。
5. 回転プロペラやモータに髪などを巻き込まないようにご注意ください。
6. 本品はGPSを装着せず、制御距離以外に飛ばさないでください。
7. フライトをされる際は、当地の関連法律や規則を守って安全にフライトするようにしましょう。

## 》 定期点検とお手入れ

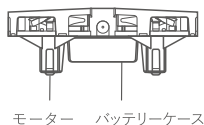
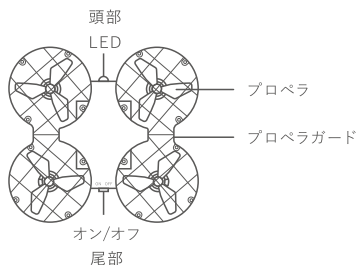
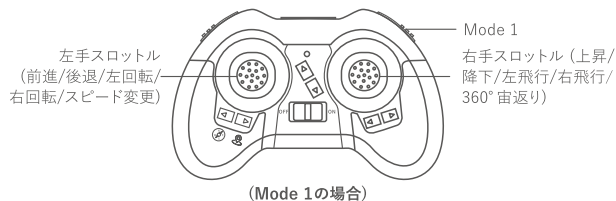
1. ドローンがぶつかったり衝撃を受けたりする時、まず丁寧に検査を行ってから飛ばせませす。
2. 本製品を使用した直後、バッテリーがまだ余熱があるうちに、充電しないでください。
3. 長時間に本品をご使用にならない場合、機体と送信機の中のバッテリーを取り出してください。
4. バッテリーを過充電しないでください。フル充電した後、直ちに充電器を抜き出してください。
5. 本製品は涼しく乾燥した場所に保管してください。直射日光に当たらないでください。
6. 可燃物(カーペット、木の床など)や導電性の物体の近くで充電しないでください。充電する時、バッテリーは目の届く範囲に置いてください。
7. バッテリーは弊社が用意しているオリジナルのものをご使用ください。間違ったタイプのバッテリーを使用すると、火災の危険性があります。
8. 爆発の原因となりますので、電池を火やストーブの中に放り込んだり、切断したり、機械で圧迫したりしないでください。
9. 爆発を起こしたり、可燃性の液体やガスが漏れたりする恐れがありますので、バッテリーを高温にさらさないでください。
10. 爆発の原因となったり、可燃性の液体やガスが漏れることがありますので、バッテリーを極端に低い空気圧にさらさないでください。

## 商品紹介



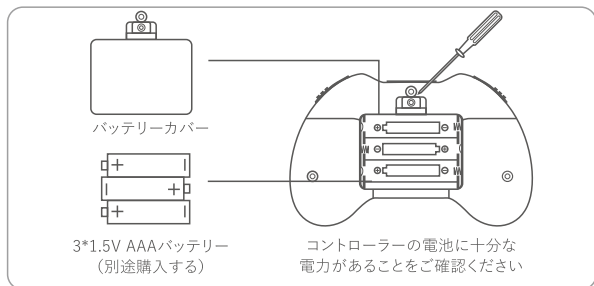
### 注意:

ドローンはデフォルトで操作モードが「**Mode 2**」です。「**Mode 1**」に切り替える場合は送信機を再起動してください。切り替え方:送信機で「**Mode 1**」ボタンを押したまま、「**オン/オフ**」ボタンをオンにして送信機が起動してから「**Mode 1**」に入ります。

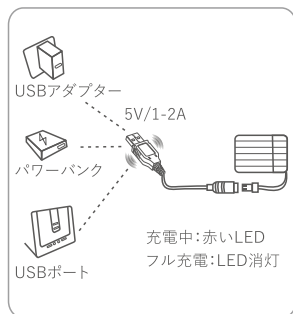


## 》 飛行前の準備

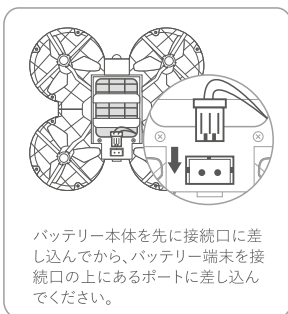
### 1. 送信機のバッテリーの取付。



### 2. ドローンのバッテリーを充電します。



### 3. ドローンバッテリーを取り付けます。



\* バッテリーの寿命を延ばすために、長期間使用しない場合は少なくとも3か月ごとに1回充電してください。

## 》 飛行ガイド

### ご注意:

- \* ドローンの電源を入れてから、送信機の電源を入れてください。
- \* ドローン若しくは送信機の電源を入れるたびに、ドローンと送信機のペアリングを行ってください。
- \* 操作中にドローンの方向を紛れないため、フライト中にドローンの尾部(LEDライトが付いていない端)を操作者の方に向かってください。

## ペアリング

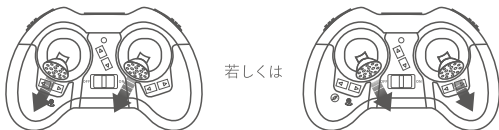
**ステップ 1:** まずドローンに電源を入れて、それから送信機に電源を入れます。ドローンのLEDが点滅し始めます。ドローンを水平な場所に置いてください。

**ステップ 2:** 「左手スロットル」を上へ押してから下へ引くと、ドローンのLEDインジケータが長く点灯します。それでペアリングに成功します。




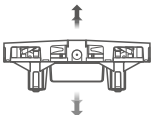

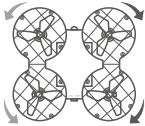
## 飛行校正

ペアリングになった後、同時に左右スロットルを左下角45°若しくは右下角45°へ2-3秒押し、校正を行ってください。校正している時、機体のインジケータが素早く点滅します。インジケータが長く点灯すると校正に成功します。


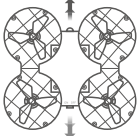

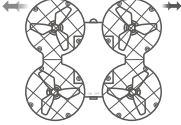


## 送信機の取り扱い


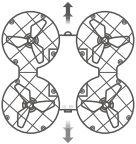

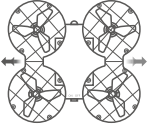
### 左手スロットル

<p>上昇/降下する</p> 		<p>左手スロットルを前方に押し、引くとドローンが上昇し、引くとドローンが降下します。</p>
<p>左/右旋回</p> 		<p>左手スロットルを左に引くとドローンが左に回転し、右に引くとドローンが右に回転します。</p>

### 右手スロットル

<p>前進/後退</p> 		<p>右手スロットルを前方に押し、引くとドローンが前方に飛び、引くとドローンが後方に飛びます。</p>
<p>左/右飛行</p> 		<p>右手スロットルを左に引くと左方向にドローンが飛び、右に引くとドローンが右方向に飛びます。</p>

## トリム調整

		<p>ドローンが飛行状態になる時、前方若しくは後方に傾いた場合、「<b>後退/前進トリム</b>」ボタンを軽く押して後退/前進に調整する。</p>
		<p>ドローンが飛行状態になる時、左若しくは右に傾いた場合、「<b>右飛行/左飛行トリム</b>」ボタンを軽く押して右方向/左方向に調整する。</p>

## 高度保持

ドローンの高度保持機能が初期に始動します。ドローンがある高度に上昇若しくは降下すると、「**左手スロットル**」を放して、ドローンがその高度を保持します。安定のフライトを行うため、相応なトリムボタンを軽く押して調整します。

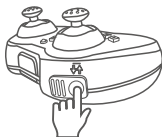
### ご注意:

市場におけるGPS付きなしのドローンの高度維持機能は定点じゃなくて、ある水平面を維持できる機能です。ホバリング時、ドローンが左右に流される可能性があります。流されたら、トリムボタンを使ってください。詳細操作は「**トリム調整**」にご参照ください。

## 起動

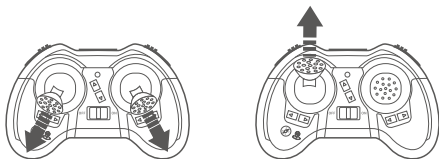
### オプション1:

 ボタンを軽く押して起動できます。

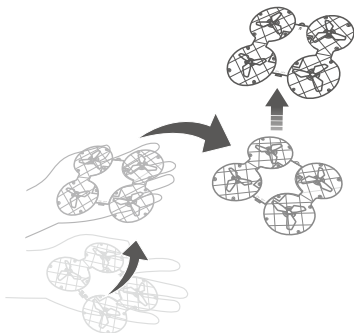


**オプション2:**

「左手スロットル」を左下角へ、同時に「右手スロットル」を右下角へ押して、プロペラがすべて回転するまで、「左手スロットル」を上へ軽く押して起動できます。

**オプション3:**

LEDインジケータを前面にしてドローンを手のひらに置き、それからゆっくりと空中に投げます。



\* ドローンを投げ上げるには十分なスペースがあることを確認してください。この動作は基本操作に熟練している場合のみお勧めします。

\* LEDが素早く点滅している時、ドローンを投げないでください。ドローンとリモコンを再起動し、ペアリングと較正の手順を行ってから再び投げてください。

**着陸****オプション1:**

フライト中、 ボタンを軽く押して着陸できます。





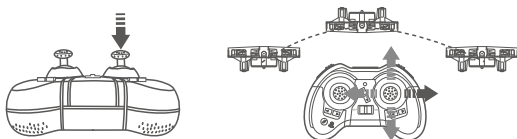
## オプション2:

「左手スロットル」を下へ長押しして、ドローンが着陸し、プロペラが回転を停止してからリリースします。



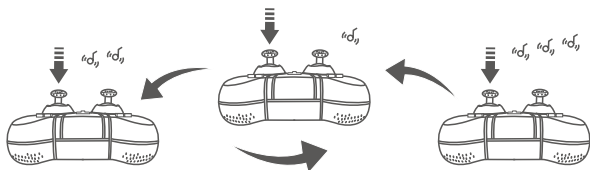
## 360°宙返り

ドローンが2メートル以上飛ばせた後、まず「右手スロットル」を下へ押して、「360°宙返り」モードに入ります(ご注意:音声提示の3-4秒以内に何の操作もなければ、「360°宙返り」モードから自動的に退出します)。それから「右手スロットル」を前/後/左/右方向に押してドローンを前/後/左/右旋回させます。



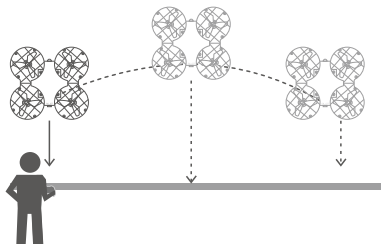
## スピード変更

ドローンはデフォルト設定で低速になります。「左手スロットル」を1回下へ押して「ピーピー」という音が出て中速になります。再び下へ押して「ピーピーピー」という音が出て高速になります。3回目下へ押して「ピー」という音が出て低速に戻ります。



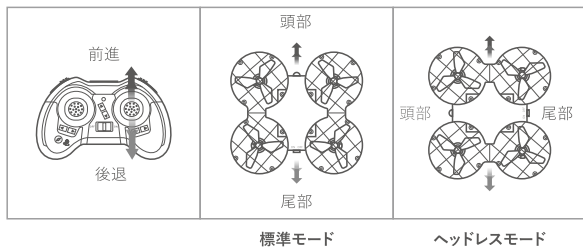
## ワンキーリターン

「📍」ボタンを軽く押すと、ドローンが最初の起動ルートの並行方向に折り返します。再び軽く押すと、帰航モードから退出します。



## ヘッドレスモード

「🌀」ボタンを軽く押すと、ドローンのLEDインジケータがゆっくりと点滅して、送信機は「ピー」という音が継続的に出てきます。このモードの場合、ドローンの頭部若しくは尾部がどの方向に向いても、ドローンは「**右手スロットル**」による方向に沿って飛行します。再び軽く押すと、ヘッドレスモードから退出します。



## 》 トラブルシューティングガイド

### 1. 電源を入れた後、ドローンが一切反応しません。

- \* 送信機とドローンのバッテリーが正しく取り付けられるかご確認ください。
- \* フル充電のバッテリーをお使いください。
- \* バッテリーを改めて入れて、また電源ケーブルが正しく接続するかご確認ください。

### 2. ドローンのLEDインジケータが持続に点滅しますが、送信機にて操作できません。

- \* ドローンと送信機のペアリングを改めて行ってください。

### 3. ドローンのLEDインジケータが持続に点滅しますがスロットルにて操作できません。

- \* ドローンのバッテリーを充電する、またはフル充電のバッテリーに交換してください。
- \* 送信機のバッテリーに十分な電力があることをご確認ください。

### 4. ドローンの飛行状態が不安定。

- \* ドローンを着陸させて、操作説明のとおり改めて飛行校正を行ってください。
- \* 天気の良い日に飛行することをお勧めします。

### 5. ドローンがスロットルによる操作に対して鈍いです。

- \* ドローンを送信機の有効通信距離を超えずに飛ばしてください。

### 6. ドローンが制御距離以外に飛んでいく場合。

- \* 「ヘッドレスモード」に切り替えて、「右手スロット」を押してドローンを帰還させます。

### 7. ドローンがぶつかった後再び離陸する時、常に上向き若しくは斜めに飛びます。

- \* 「左手スロットル」を下へ長押しして、ドローンが着陸し、プロペラが回転を停止してからリリースします。着陸後、プロペラがプロペラガードの上部に当たっていないかをご確認ください。当たった場合、プロペラガードの中央部を押し下げ、プロペラを下に戻させてください。その後、取扱説明書に従ってもう一度校正を行ってください。

## » 仕様

ドローン	
動作温度	32° F to 104° F (0°C to 40°C)
動作周波数	モデル H823H: 2.416-2.475 GHz
リモコン	
動作周波数	モデル H823H: 2.416-2.475 GHz
送信電力(EIRP)	モデル H823H: 2.4GHz<18 dBm
USBケーブル	
インプット	5V $\overline{\text{---}}$ 1-2A
アウトプット	4.2V $\overline{\text{---}}$ 300mA
定格出力	1.26W

## SNAPTAIN SUPPORT

JP support.jp@snaptain.com



[www.snaptain.com](http://www.snaptain.com)



[@snaptainofficial](https://www.facebook.com/snaptainofficial)



[@snaptain\\_official](https://www.instagram.com/snaptain_official)